

## 財団沿革

平成元年1月25日	財団法人大阪府国際交流財団を設立
平成7年2月1日	大阪府から施設の貸与を受け、大阪府堺留学生会館オリオン寮を運営管理
平成21年3月31日	オリオン寮の土地建物を大阪府から取得
平成24年4月1日	大阪府知事の認定を受け、公益財団法人大阪府国際交流財団としてスタート
平成27年3月13日	大阪府と大阪府災害時多言語支援センターの設置・運営の協定を締結
平成31年4月1日	外国人ワンストップ相談窓口運営開始
令和4年3月9日	ウクライナ避難民支援のための人材バンク制度と相談窓口を設置

## OFIX Supporting Members

### 賛助会員様 募集中

OFIXの活動主旨にご賛同いただき、所定の会費を納めていただく法人会員、個人会員の方々を募集しています。

法人会員 1口年額 50,000円  
(2口以上のご支援をお願いします)

個人会員 1口年額 3,000円

✉ <https://www.ofix.or.jp/donate/> 

#### ■ 特典

- OFIXの事業活動や国際交流に関する情報等を掲載した「OFIXニュース」(季刊)や報告書(年1回)の送付
- バナー広告の掲載を無料で提供(法人賛助会員)

#### 公益財団法人に対する寄附金の税法上の優遇措置

OFIXの賛助会費は、所得税や法人税の税法上の優遇措置の適用を受けることができます。

## OFIX Website ADS

### バナー広告 募集中

OFIXが管理運営するOFIXホームページに掲載するバナー広告を募集しています！

リーズナブルな広告料金！1か月単位で掲載、延長可能！

日本語トップページと多言語トップページ(11ページ)

5,500円 (税込)

✉ <https://ofix.or.jp/banners/> 

※1枠1か月

※法人賛助会員の場合は無料掲載

## JICA大阪デスク@OFIX

OFIX事務所内に「JICA大阪デスク」を設けています

TEL: 06-6966-2400

E-mail: [jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp](mailto:jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp)

## 財団概要

代表理事	理事長 吉川 秀隆
法人所管課	大阪府府民文化部都市魅力創造局 国際課
設立年月日	1989年1月25日 2012年4月1日公益財団法人に移行
設立目的	大阪の国際化と府民の国際交流の促進を図り、国際都市・大阪の発展と国際親善に寄与することを目的に設立。
基本財産	2,040,940,610円

1. 外国人の受入促進、活動環境の整備  
外国人への情報提供及び相談や、OFIX通訳・翻訳ボランティアの育成・派遣等、外国人への多言語支援事業を推進。  
また災害において、府内市町村や国際交流団体と連携し、多言語情報提供の相互支援の体制整備を推進。
2. グローバル人材の育成  
多文化共生の実現に向けたグローバル人材を育成するため、外国人サポーターを大阪府内小・中学校・高等学校等の国際理解教育授業へ派遣。
3. 国際交流情報の発信  
府内関係機関と事業を通じた連携・情報交換を推進、ネットワークの強化を図る。  
OFIXホームページ、SNSやOFIXニュースで、事業に関する情報を発信。

#### 活動の3つの基本柱



公益財団法人 大阪府国際交流財団

Osaka Foundation of International eXchange



公益財団法人 大阪府国際交流財団

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5

マイドームおおさか5階

TEL: 06-6966-2400

FAX: 06-6966-2401

<https://www.ofix.or.jp/>



Think  
Multiculturally,  
Act Osaka-ly

OFIXはOFIXボランティアの方に協力いただき、大阪在住の外国人の方への生活サポートを行っています。

## ❖ 多言語による情報提供

### 大阪府外国人情報コーナー(相談は無料です)



来日・在住外国人の方が安心・安全に過ごせるよう、日本語を含む11言語により、在留資格から生活関連情報まで幅広い情報提供や相談に応じています。外国人を雇用する企業のみなさまにもご利用いただけます。

➤ 在阪外国人の方のための生活ガイド  
「大阪生活必携」(11言語)、「やさしい日本語」  
<https://ofix.or.jp/life-japanese/>



➤ 「よくある生活質問集(FAQ)」(11言語)  
<https://ofix.or.jp/life-in-japan-faq-japanese/>



### 通訳・翻訳ボランティアの育成・派遣



行政と外国人とのコミュニケーションを多言語でサポートするコミュニティ通訳・翻訳等の語学ボランティアの方を育成し、市町村等の依頼に基づき派遣しています。

➤ ボランティア登録・派遣申込  
<https://www.ofix.or.jp/volunteers/>



### 多言語の生活支援情報の発信

日本人が当たり前だと思っているけれど、外国人にはわかりにくい様々な事柄を、動画にしました。病院の診察の受け方から家の探し方まで紹介しています。



➤ OFIX YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/@ofix.jp>



## ❖ 多文化共生の環境整備・人材育成

### 人材育成

大阪在住の青少年が多文化共生社会について学ぶ場として、OFIX サポーターに登録している留学生等を、府内の学校での多文化理解の授業の講師として派遣しています。



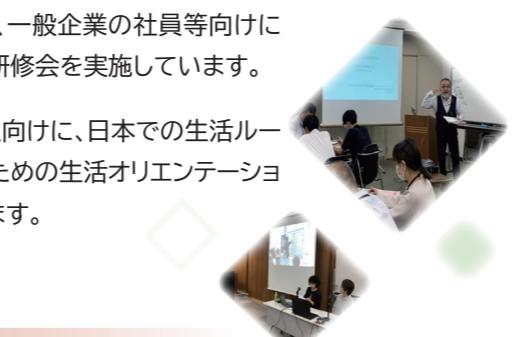
また、大学などの多文化共生イベントにも協力しています。

➤ OFIX国際理解教育  
<https://www.ofix.or.jp/supporters/>



### 企業研修・講師派遣

やさしい日本語は、阪神・淡路大震災をきっかけに生まれた、外国人にも理解しやすい日本語です。OFIXでは、行政や国際交流協会の職員、一般企業の社員等向けにやさしい日本語研修会を実施しています。



また、在阪外国人向けに、日本での生活ルールや習慣を知るための生活オリエンテーションも実施しています。



### 外国人相談対応力強化事業(大阪府委託事業)

主に、外国人旅行者に接する方々の相談対応力の向上を目指します。そのため、研修会の実施や、テキストの作成を行います。また、関係機関で情報共有できるよう相談内容のデータベース構築もおこないます。

## ❖ 災害時外国人多言語支援体制の強化

### 大阪府災害時多言語支援センターの設置・運営



大阪府とOFIXは、大規模災害時に円滑な多言語支援を行うため、「大阪府災害時多言語支援センター設置・運営に関する協定書」を締結しています。

### 災害時通訳・翻訳ボランティアの登録・育成

登録ボランティア対象のスキルアップ研修の定期的な実施や、大学等と連携し留学生にボランティア登録を働きかける等、災害時の外国人への多言語支援の充実を図っています。

➤ ボランティア  
<https://ofix.or.jp/volunteers/>



### 災害時多言語情報発信

災害時に外国人が必要な情報を、OFIXホームページで11言語を発信しています。

➤ 防災情報コーナー<sup>1</sup>  
<https://ofix.or.jp/disaster-info-japanese/>



## ❖ 大阪府堺留学生会館「オリオン寮」の運営

オリオン寮は、OFIXが管理運営している留学生寮です。一部、企業インターンシップ生にもご利用いただけます。地域の方々との交流を深めるためのイベントも開催しています。



部屋:85室(全室単身者用)  
居室使用料:月額 36,000円(共益費込)2025年4月現在

➤ 大阪府堺留学生会館オリオン寮  
<https://www.ofix.or.jp/dormitory/>



## ❖ OFIXからの情報発信

### OFIX公式ホームページ及びSNSの運営

OFIXの事業や、他団体との共催事業・連携情報をOFIXホームページとSNSで発信しています。



➤ OFIX ホームページ  
<https://www.ofix.or.jp>



➤ OFIX Facebook  
<https://www.facebook.com/osakafoundation>



➤ OFIX X  
[https://x.com/OFIX\\_JP](https://x.com/OFIX_JP)



➤ OFIX note  
<https://note.com/ofix.jp/>



### 「OFIXニュース」の発行、メールマガジン

季刊で発行するOFIXニュース(日・英)では、事業の紹介や報告、国際交流に関する情報を提供しています。また、最新と定期的な情報提供ツールとして、メールマガジン(日・英)を毎月配信しています。

➤ OFIXニュース、メールマガジン  
<https://www.ofix.or.jp/archive/>



### 賛助会員向け報告書の発行

賛助会員向けに、年1回OFIXの報告書を発行しています。

### 関係団体とのネットワーク構築

近畿地域国際化協会連絡協議会や、府内市町村国際交流協会等との事業を通じた連携・情報交換を進めています。